

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【公開番号】特開2015-184287(P2015-184287A)

【公開日】平成27年10月22日 (2015.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-065

【出願番号】特願2014-57537(P2014-57537)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/04 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/04 K

G 0 9 G 3/20 K

G 0 9 G 3/20 6 2 3 D

G 0 9 G 3/20 6 2 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 G

G 0 9 G 3/20 6 1 1 C

G 0 9 G 3/20 6 7 0 M

G 0 9 G 3/20 6 1 1 J

G 0 9 G 3/20 6 1 1 D

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 K

G 0 9 G 3/20 6 1 1 E

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月6日 (2017.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

それぞれが第 1 電極、発光層、及び第 2 電極を有する複数の第 1 発光素子と、
前記複数の第 1 発光素子の前記第 1 電極にそれぞれ接続する複数の第 1 電源配線と、
前記複数の第 1 発光素子の前記第 2 電極に接続する設置配線と、
 前記複数の第 1 電源配線に流れる電流を制御することにより、前記複数の第 1 発光素子の
 発光を制御する制御部と、
 を備え、

前記制御部は、前記複数の第 1 発光素子を繰り返し発光させ、かつ発光 1 周期の中で、
 前記複数の第 1 発光素子に流れる電流のタイミングをずらす発光装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

請求項 2 に記載の発光装置において、

それぞれが前記第 1 電極、前記発光層、及び前記第 2 電極を有する複数の第 3 発光素子と、

前記複数の第 3 発光素子の前記第 1 電極にそれぞれ接続する複数の第 3 電源配線と、
を備え、

前記複数の第 3 発光素子の前記第 2 電極は前記接地配線に接続しており、

前記制御部は、前記複数の第 3 電源配線に流れる電流を制御し、

一つの前記第 3 発光素子の面積は、前記第 2 発光素子の面積よりも小さく、かついずれの前記第 1 発光素子の面積よりも大きく、

他の前記第 3 発光素子の面積は、いずれの前記第 1 発光素子の面積よりも小さく、

前記制御部は、前記複数の第 3 発光素子を繰り返し発光させ、かつ発光 1 周期の中で、前記複数の第 3 発光素子に流れる電流のタイミングをずらし、

前記第 2 発光素子が発光している間に、前記複数の第 3 発光素子を 1 周期以上発光させる発光装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 1 に記載の発明は、それぞれが第 1 電極、発光層、及び第 2 電極を有する複数の第 1 発光素子と、

前記複数の第 1 発光素子の前記第 1 電極にそれぞれ接続する複数の第 1 電源配線と、

前記複数の第 1 発光素子の前記第 2 電極に接続する接地配線と、

前記複数の第 1 電源配線に流れる電流を制御することにより、前記複数の第 1 発光素子の発光を制御する制御部と、

を備え、

前記制御部は、前記複数の第 1 発光素子を繰り返し発光させ、かつ発光 1 周期の中で、前記複数の第 1 発光素子に流れる電流のタイミングをずらす発光装置である。